

Stand UP! NO.28

2020年 3月11日
発行責任者 後藤 修一
編集責任者 情 宣 部

3.11東日本大震災を風化させてはいけない!!

『Fukushima 50』(フクシマフィフティ)は、2020年3月6日に公開された日本映画。門田隆将著のノンフィクション書籍『死の淵を見た男 吉田昌郎と福島第一原発』を原作に、東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故発生時に発電所に留まって対応業務に従事した約50名の作業員たち・通称「フクシマ50」の闘いを描く。

監督はあの累計700万部を越える山崎豊子のベストセラー小説『沈まぬ太陽』を映画化し大ヒットさせた若松節朗、主演は佐藤浩市と渡辺謙。

菅官房長官は21日の記者会見で、毎年3月に東京都内で開いてきた政府主催の東日本大震災追悼式について、発生から10年となる2021年を最後に打ち切る方針を明らかにした。菅氏は理由として「10年というのは、ある意味で一つの節目だ」と説明した。また、コロナウィルスにより9年目の追悼式は中止となり代わりに献花式となった。報道がどんどんされなくなっていき、風化されていていっているが、決して風化させてはいけない事ではないでしょうか？

Fukushima50

ぜひ皆で鑑賞してみよう!!